



パワー

(電力・動力)

1999

夏

株式会社 **ホンマ電機**
情報紙39号

発行所
株式会社 ホンマ電機
神奈川県相模原市上鶴間1丁目11-1
電話 042(746)1616(代)
発行責任者 本間俊三

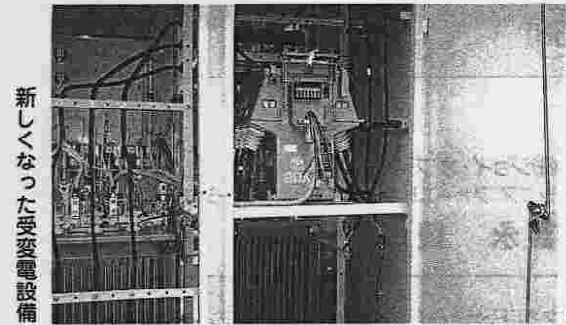
BUSINESS フィールド

相模大野駅北口の商業地区でも一等地にある草柳ビルは、間もなく築三〇年を迎えます。その間テナントの要求に沿って、受電容量の増減を行い対応してきました。

しかしこのたびは、テナントの入れ替えを機に受電設備と引き込みケーブルの一切を交換しました。受電容量を改修前より約50%増



キュービクルの搬入



新しくなった受変電設備

やすことで、電力消費の多いテナントにも対応できるようにし、幹線も増設して後工事による無駄をなくし

ました。また、各種保安装置も新型に更新されたことで信頼性が向上しました。なお、引き込みケーブルは従来のCVケーブルから、信頼性の高いCVTケーブルへ交換しました。

草柳ビル 受変電設備改修工事

下記の表は(社)電線総合技術センターにおいて、一九九一年に調査した結果です。銅とアルミは100%リサイクルされていますが、被覆材料はわずか19%しかリサイクルされておらず、そのほとんどが廃棄されているのが現状です。

使用済み電線処理の実態

廃棄物を減量することなどが考えられます。

使用済み電線処理の実態

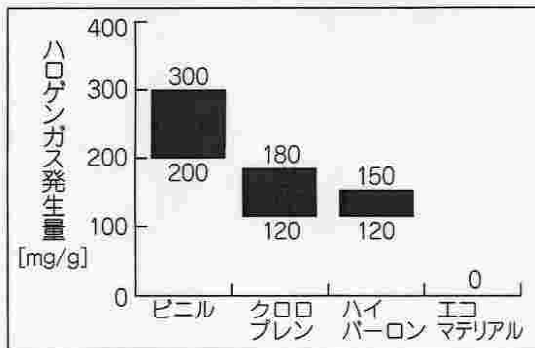
種類	導体材料		被覆材料					合計
	銅	アルミ	PVC	PE	架橋PE	ゴム	混合	
リサイクル率(%)	100	100	31	17	47	0	0	19

エコマテリアル(新材料)のエコロジー特性

項目	エコマテリアル	ビニル(従来)	エコマテリアルのエコロジー性
ハロゲンガス発生量	ゼロ	200~300mg/g	有毒ガスが発生しない
発煙性	80~105	190~310	低発煙性 (スモークチャンバ試験で、発煙濃度150以下)
腐食性ガス発生量	pH4.3~pH4.6	pH2	腐食性ガスの発生がない (IEC 754-2でpH3.5以上)

エコケーブルの性能

ハロゲンガス発生量



今後の課題

今後、環境に配慮した電線・ケーブル、およびそのリサイクルを推進していくためには、次の課題を解決していく必要があります。

- (一) 新材料の開発と、リサイクルを前提にした製品開発
- (二) 自動化・省力化による経済的リサイクル技術の開発
- (三) 分別・回収・再製品化リサイクルの確立

本間しぞう 市議当選報告と選挙事務所閉所式



当選を祝して連磨に目を入れる

相模原市議会議員選挙が四月二十五日に行われ、本間としぞうは前回を上回る四七八〇票を獲得、二期目の当選を果たしました。

翌二十六日午後一時より、選挙事務所の閉所式に先立ち当選報告がおこなわれ、共に選挙を戦った支援者たちが集い、本間としぞうの勝利の慶びを分かち合いました。「二期目は厳しいといわれる選挙の当選は四年間の実績の評価であり、熱意ある支援者たちの一致団結の賜物。この尊い一票を地域への恩がえとして今後も上鶴間・相模大野地域にねぎらった活躍を期待したい」と来賓や選対関係者らがあいさつしました。



本間としぞう、遊説自転車隊

おめでとう

おめでとう

③ 近況報告

このイメージマークはサイバースマークとして登録されています。

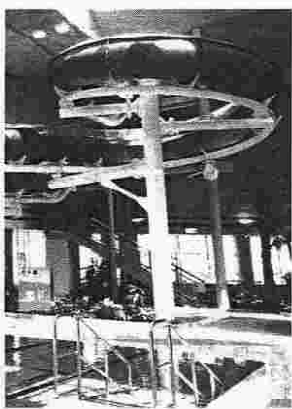




(11)
さがみはら北の丘センター（北市民健康文化センター）が、さる五月三日オープンしました。スポーツ・レクリエーション施設を中心とする複合施設として、子どもからお年寄りまで多くの人が利用できる充実した施設となっています。私たち市民の健康増進に、そして文化・福祉の活動などに大いに役立てたいものです。

さがみはら 北の丘センターオープン

相模原市立北市民健康文化センター



ウォータースライダー



さがみはら北の丘センターのエントランス

さがみはら北の丘センターの総工費は三十六億円です。その主な施設は、一階に25メートルプール、流水プール、ウォータースライダー、二階に障害者プール、会議室、講習室、三階に大広間、浴室などがあります。施設の電気は、隣接する北清掃工場の廃熱利用による発電でまかない、年間約七千万円〜八千万円の電気料金の節約が見込まれています。なお維持管理費用として、年間約三億円が予算化されておりあります。

携帯電話センサー

開発の背景

最近、携帯電話が広く一般に普及したのに伴い、携帯電話などによる電波トラブルが多く発生しています。ある病院では、入院患者に輸液の注人を行っていたところ、携帯電話から発射された電波により、輸液用のポンプが誤作動しました。このため医療機関では、携帯電話の使用区域を限定し、病棟内、検査室、診察室、病室および処置室などの周囲では携帯電話の電源を切り、手術室、集中治療室などで携帯電話を持ち込まないよう指導しています。

NEW 技術情報



携帯電話センサー

動作が起きることが予想されるため、機内での使用が禁止されています。さらに、電車内、図書館、美術館などの公共施設で携帯電話をかけている人がいて、耳障りになるといふ苦情の声も聞かれます。このように携帯電話の電波が、医療機器や精密機器に影響を及ぼすことを懸念し、使用が不適切な場所に音声で知らせる装置

また、飛行機など精密機器が多い場所でも、携帯電話からの電波により、計器の誤動作が起きることがあります。また、飛行機など精密機器が多い場所でも、携帯電話からの電波により、計器の誤動作が起きることがあります。また、飛行機など精密機器が多い場所でも、携帯電話からの電波により、計器の誤動作が起きることがあります。

企業ルポ

お客様紹介 ③

日本マクドナルド(株)フランチャイジー 相模原ジャスコ店
相模原市古淵2-10-1 ☎(042)769-7647 FAX.(042)769-8720

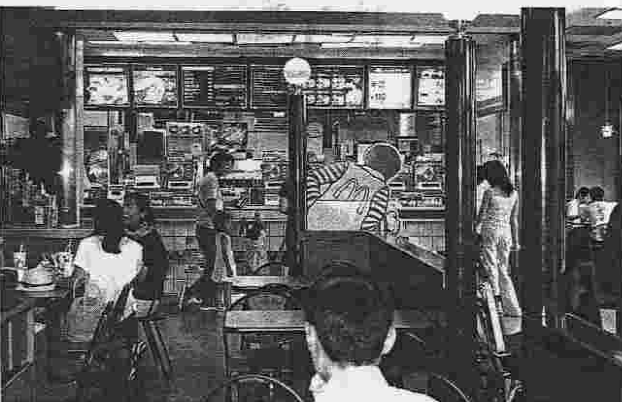
年中無休 AM8:00~PM10:00



(株)ジョイ・オブ・フーズ シニアファーストアシスタントマネージャー 富永 豊氏



相模原ジャスコ店



お客様で賑わう店内

日本マクドナルド(株)フランチャイジー (株)ジョイ・オブ・フーズ 相模原ジャスコ店
・設立 1996年12月1日 (フランチャイジー移行日)
・資本金 2千万円
・代表取締役 関野 肇氏
・従業員数 正社員 4名 パート 70名

日本マクドナルドは、全国に2,961店舗ありますが、そのうちの598店・約2割の店舗がフランチャイジーとなっており、相模原ジャスコ店もその1つです。フランチャイジーは日本マクドナルドの企業理念であるQ（高品質）、S（クイックサービス）、C（清潔さ）や製法では直営店と全く変わらず、ロイヤリティを払って経営展開を図るといふ制度です。この制度を活用し店舗運営ができるのは限られた人材です。関野肇

代表取締役は、日本マクドナルドに20年以上勤務し、営業本部長や西日本地区本部長の役職を務め、高い貢献度と、QSCを維持して店舗運営を図れる資格を備えた人材としてフランチャイジーを認定されました。なお、相模原アイワールド店は94年6月1日にフランチャイジーとして開店5年を経過、関野代表取締役が運営しています。

「QSCにおいて地域1番の店舗に、それが業績の拡大につながります。お客様への食品の安全性を第1にして、理想の店づくりを目指します」と店舗責任者の富永氏は語っています。いま、一般的に企業では活性化を目指して分社化を推進しています。フランチャイジーも新しい時代の流れに沿った事業の活性化に大きく寄与するものです。転勤もなく、腰をすえて地域社会に密接につながり、人々とコミュニケーションを図りなが

ら店舗を運営し、また、地域への貢献も果たしていけるからです。同店の店づくりは幼い子どもに同行するファミリーを意識していますが、若い人たちでも賑わっており、特にジャスコの催事日には120の客席が満席になり、その恩恵は絶大です。7月5日から期間限定でマックシェイク半額、14日までカルピマック240円と安価な提供が注目を集めるでしょう。「当店の厨房機器は日夜稼働しており、要の電気関係の緊急時に休日、夜中でも駆けつけて下さるホンマ電機さんに感謝しています」。



Donald君に見入る小さなお客様